

あったか便り

あけましておめでとうございます

みなさまに愛される、あったかーい楽しい
あったかほ一む作りをしていきたいと
思っていますので、よろしくお願い致します



大野 田中



< かつどう状況 ~ 日誌より ~ >

- 11月 2日 竣工式
- 3日 内覧会・食事会 (ホームご利用者)
- 7日 ふれあい広場に参加
- 9日 第5回企画会議
- 15日 しみんふくしの家八日市へ視察
- 18日 第6回企画会議
- 28日 8組常会
- 30日 第7回企画会議
- 12月 4日 7組常会
- 12日 5組常会
- 14日 第8回企画会議
- 18日 お餅つき・ワイワイ活動(クリスマス飾り付け)

「ハッとした夢」

暮れから依頼を受けたテーマは初夢。一富士、二鷹、三茄子は無理でも、そこそこの夢を見なくっちゃと気張ったのが悪かったのか、幕の内の間も相変わらず怖くてしんどい夢しか見なかった。

現場に業務チームが着いていないというクレームにひたすら頭を下げたり、バネッパンが坂道で止まり、サイドブレーキも効かずとんとんと後ろへ加速して行って、ああっ落ちるっ・・・と目が覚めたり、残念ながら期待に込めることは出来なかった。

平成15年度からスタートした滋賀県の「あったかほ一む」づくり事業の一つのきっかけとなったのが、共生舎なんてんでのけい子さんの働き(役割)であった。とかく目に見える部分のみを評価しがちな今日、知的障害を持ちながらも利用のおとしよりや援助のチームに“安心ややすらぎや信頼”を与える彼女の役割は大きなものであった。

「いしべ宿」でも乳幼児等の一時預かり利用が増えれば、何とか知的障害のあるスタッフの就労も実現したい。高齢の人たちが子育て支援に参加する手だてと併せて、障害のある人たちが子どもたちの育ちの部分にどう関わっていくのか是非挑戦してみたいと思っている。

もちろんこの取り組みも、関係する人たちだけで特別なものにならないよう、広く地域に開いてみなさんと一緒に進めていきたい。「砂地の山」、もう一度、共に登って下さい。(溝口)

< かつどう報告 >

・・・ワイワイ・わいわい・共生舎合同お餅つき(2004.12.18)・・・

たくさんの方々に参加して頂き、一緒におもちをついたり、まるめたり、あんこを包んだりとわいわい楽しく過ごす事ができました

ダントツで大根おろしが人気でした

- 一位 大根おろし
- 二位 あんこ
- 三位 きなこ

みんなで食べると、とってもおいしかったですね

お手伝いして頂いたみなさま
ありがとうございました
おつかれさまでした



< ごあんない >

待ちに待った看板がやっとできあがりまして
とってもあったかな、りっぱな看板です



あったかほ一むの場所もみなさまに
分かって頂きやすくなりました
(紀友設計事務所、ワークロード社施工)

これから、みなさまに楽しんで頂けるイベントをいっぱい考
えていきたいと思っていますので、みなさまのご意見をど
しどし、スタッフまでお寄せください
よろしくお願い致します

あったか 実施サービス

< 子育て支援 >

親子サロン・幼児一時預かり・学童保育

< シルバー生きがい支援 >

シルバーボランティア・高齢者による子育て支援

< 余暇かつどう支援 >

あったか倶楽部 <わしくは、スタッフまで

< お礼とお願い >

いただいた物品など(順不同)

テレビ、室内用すべり台、三段ボックス、玩具整理棚、
書類整理棚、水屋、電気こたつ、座布団、パソコン、
応接セット **多数のご寄贈ありがとうございました**

食器類、絵本、おもちゃ、音楽CD・カセットテープ、
タオルなどが不足しています。ご支援をお願いします。